

# 朝日岳 あさひだけ 〈1827m〉

7時間5分☆☆☆

寸又峡温泉入口の兎辻の乗越を過ぎると正面に大きく朝日岳が目に入ってくる。朝日を浴びたこの山容は、いかにもどっしりと腰を下ろし、何者にも動じぬ横綱の風格を



寸又左岸道からの朝日岳と熊平沢ノ頭(右)

持っている。寸又三山というキャッチフレーズで登山者も年々増えている。奥山の雰囲気は今も失われず、頂稜部の苔むした原生林の光景は深く印象に残るだろう。

寸又峡温泉バス停から北に進むとゲート前のグリーンシャワールード入口に出る。これを下りふれあい橋



寸又川に架かる三猿並橋

を渡ると分岐に出る。左に下り寸又川に架かる猿並吊り橋を渡る。自然林のやや急な尾根を登り左岸林道に出た左側が登山口。灌木林のやや急な岩交じりの道だがよく踏まれている。尾根は登るほどに急になりやがて固定ロープの掛かるザレ地に出る。足場が悪くここはロープに助けられて慎重に抜ける。ここから左斜めに登り一つ西側の小尾根に移る。



山頂 木の中に深南部や富士山が見える

沢口山や前黒法師山が葉隠れにチラホラのぞく。尾根はいつしか山腹状になり、左にトラバース気味の道に入る。出た所が合地ボツ。ボツとは土地の猟師言葉で尾根のこと、尾根の合わさった所という意味だ。傾斜はグツと落ち小さな起伏を越えながらの登り、サラサドウダンの花を見

ながら登ればブナの疎林に入る。尾根は一転してロープのかかる急登となる。ここを登り切れば栗山沢ノ頭で、舞台は原生林に変わる。苔むした風倒木とシダの群生した鬱蒼とした林を抜ければ三角点の立つ山頂に出る。狭い切り開きからは大無間山や富士山が見られる。

峡温泉バス停

熊平沢ノ頭コース

4時間20分☆☆☆

朝日トンネルの入口が取付点。灌木林に微かな踏み跡がある。急坂を登り尾根に上がる。ヤセ稜が終わると尾根は直角に曲がり、杉・松林とカラマツ林の緩やかな林界を登る。

続く広い自然林帯を登れば熊平沢ノ頭に出る。展望はきかず、林下にはミヤママコナが群生する。柚葉沢のツメの連続するコブを越え、岩混じりの稜を登ると広い原生林に入る。ここを登り切ると一般コースと合流する栗山沢ノ頭で、続く平坦な原生林を進めば朝日岳に出る。

参考タイム

取付点(2時間40分)熊平沢ノ頭(1時間40分)栗山沢ノ頭  
2万5千圓 寸又峡温泉



参考タイム  
寸又峡温泉バス停(30分)  
登山口(2時間)合地ボツ(1時間40分)栗山沢ノ頭(15分)朝日岳(1時間10分)合地ボツ(1時間10分)登山口(20分)寸又